

せいけん
詩集

第三十八篇

作：近藤せいけん

『水 源流の郷 清川』

清らかな流れ 山間を下り

早き水 あくまで澄み

ありがたき ふるさとの川

なつかしき 山 簀え

ここは水の 生まれいずるところ

水の郷 清川

心 優しき村人

絆 深し

今宵蘇る 祭りばやし

どこか悲しげに 美しく

太鼓が響きわたり

青龍が舞い 天に昇る

火の祭り

ここは水の生まれいずるところ

水の郷 清川

心 美しき村人

絆 深し

